

## 一般社団法人 日本 WPA 第 8 期（平成 29 年度）事業活動報告。

第 8 期は、第 6 期で新体制に移行し 2 期目の事業年度となった。

### 1. 事業の概要

水なし印刷を核とした環境対応印刷技術の普及促進による印刷環境保全、生産性向上、高品質化を推進し、地球温暖化防止、VOC 発生抑制などの社会的課題の解決を目的に、種々の活動を実施した。

#### (1) 収支実績

収支とも、ほぼ予算と通りとなった。収入は、会費収入及びその他で、17,208,694 円、支出は、21,209,145 円で、期末の正味財産残高は、16,171,003 円となった。

後述のプロモーションムービーの制作費を、繰越財産から支出したことにより、期末正味財産は、前期比で 4,00,451 円の減となった。

#### (2) 会員数の増減

正会員 3 社、協賛会員 1 社の新規加入があり、退会会社数は 2 社で、期中では会員増となった。ただ、来期（第 9 期）での退会が 4 社となっている。

### 2. 個別事業活動報告

#### (1) 前期に引き続き、水なし UV 印刷、LED-UV 印刷の採用事例が増加した。

この動きに合わせて、NONVOC エコ UV インキのロゴの商標登録を行い、インキメーカー、印刷会社、デザイン会社等で採用が進んだ。

#### (2) 会員向けサービスの充実

6 月には、熊本市で開催した総会、及び総会に合わせた工場見学会・セミナーを開催した。10 月には項目 10 に相当します工場見学会、パネルディスカッション、セミナーを、岡山市で開催した。

会員サービス事業として、カーボンオフセット事業、VOC 計測事業、CFP 事業を継続実施した。

特に、カーボンオフセット事業では、2009 年に開始以来、累計の総オフセット量が、5000 トンを超え、12 月には、環境省、経産省、農水省が後援するカーボンオフセット大賞で優秀賞を受賞した。

#### (3) 日本 WPA の活動の軸である環境保全活動

##### プロモーションムービーの制作

日本 WPA の基本となる「水なし印刷の普及」と「バタフライロゴの普及」のために、プロモーションムービーを、経常外予算にて制作した。

印刷物の発注者様向けと印刷業界向けの 2 本を製作し、Youtube で公開している。

##### エコプロ 2017 展への出展

みずほ情報総研、新潟県等 5 団体とのコラボ出展し、エコかるた大会を、合計 180 回

程度を実施し、日本 WPA の環境への取り組み、バタフライロゴへの認知度向上に寄与した。

#### SDGs 宣言

2015 年に国連総会で採択された「地球規模での持続可能な開発のための 17 の目標」を定めた SDGs に積極的に取り組むために、SDGs 宣言を発表した。

#### バタフライマークシールの制作

バタフライロゴの普及活動として、バタフライマークのシールを制作し、会員が印刷物の梱包材に張り付けて使用できることを目的にしている。

#### メールマガジンの発行

日本 W P A の活動紹介のためのメールマガジンの発行を開始した。メールマガジンは、会員、非会員を問わず水なし印刷、日本 W P A、環境問題に関心のある人向けに発行している。

会員向けには、理事会の会報や活動案内なども、定期的にメールマガジンにて別途情報提供を開始した。

以上